

完了後の評価個表

事業名	森林環境保全整備事業	事業実施期間	平成17年度～平成21年度												
事業実施地区名 (都道府県名)	あぶくまがわ 阿武隈川森林計画区 (福島県)	事業実施主体	関東森林管理局 福島森林管理署												
完了後経過年数	5年	管理主体	関東森林管理局 福島森林管理署												
事業の概要・目的	<p>当事業は、阿武隈川森林計画区に属する92千haの国有林野のうち、福島森林管理署が直接所管する58千haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区内の国有林野は、福島県の中央部の「中通り」地域に位置し、奥羽山脈と阿武隈山地に挟まれた平野部からその東西に広がる山岳地帯まで標高の変化に伴って様々な森林形態が見られ、当事業は当計画区の北部から中部にかけての国有林で実施したものである。</p> <p>このうち、茂庭地区等の奥地に位置する森林については、自然度の高い天然生林が広域に分布していることから自然環境の維持、保全が求められており、吾妻地区等の都市近郊に位置する森林については、森林とふれあえる場の提供が期待されている。また、上流域の森林は中通り各都市部の生活用水を始め、工業・農業用水の水源地として重要な役割を果たしている。森林は、太平洋側植生域から日本海側植生域へ移行する地域まで広範な森林形態を有している。</p> <p>人工林の生育状況は全般的に良好であるが、気象、土壌等の自然条件が厳しいため一部に生育不良な林分も見られる。このような林分は、良質な木材の生産が困難な面はあるが、水源涵養機能等の維持、向上のため健全な森林状態に誘導することが求められている。</p> <p>従来から、当計画区の森林は、水源の涵養、山地災害の防止、木材等の林産物の供給等の機能の発揮を通じて、地域住民の生活と深く結びついてきたところであるが、近年、これらに加えて、保健・文化・教育的な利用の場の提供、良好な生活環境の保全等の機能の発揮、地球温暖化の防止や生物多様性の保全等、森林の持つ多面的機能の発揮に対する期待が高まっている。</p> <p>このような国民の期待に応え、森林の持つ多面的機能の持続的な発揮を確保していくため、本事業に取り組んだものである。</p> <p>具体的には、多面的機能を発揮するための基盤となる森林資源を整備するため、更新（地拵、植付）及び保育（下刈、つる切、除伐、保育間伐）等を実施するとともに、森林施業の効率的な実施に必要な路網整備（林道等の開設及び改良）を実施した。</p> <p>・主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>236ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>2,930ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>6.1km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>5.3km</td> </tr> </table> <p>・総事業費</p> <p>1,150,994千円</p>			森林整備	更新面積	236ha		保育面積	2,930ha	路網整備	開設延長	6.1km		改良延長	5.3km
森林整備	更新面積	236ha													
	保育面積	2,930ha													
路網整備	開設延長	6.1km													
	改良延長	5.3km													
① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	平成27年度時点における費用対効果分析は以下のとおりである。														

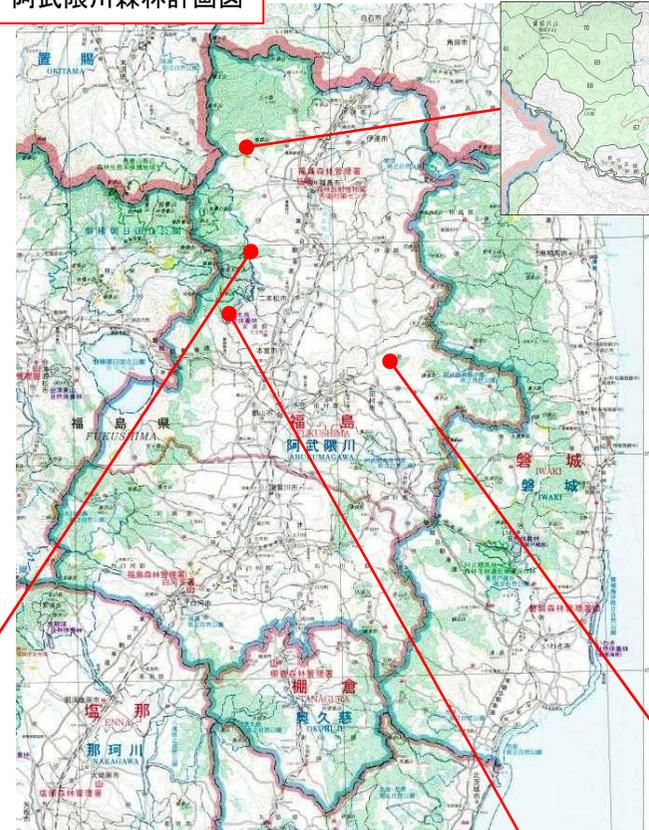
	<p>総便益(B) 10,404,043千円 (事業採択時 9,483,639千円)</p> <p>総費用(C) 2,647,297千円 (事業採択時 4,759,844千円)</p> <p>分析結果(B/C) 3.93 (事業採択時 1.99)</p>
② 事業効果の発現状況	<p>本事業の実施により、森林が適正に整備され、水源の涵養や国土の保全等森林の有する公益的機能の維持増進が図られた。</p> <p>また、事業は農山村地域における雇用の場を提供しており、地域の社会経済に貢献している。</p>
③ 事業により整備された施設の管理状況	<p>林道等の開設及び改良により、これまで路網がないために施業が停滞した森林の整備が推進された。高性能林業機械による施業が定着している現在では、大型車両の通行は効率性の確保や事業コストの低減に資するものであり、労働安全の確保にも大きく貢献している。</p> <p>なお、整備された路網は、福島森林管理署において良好に維持、管理されている。</p>
④ 事業実施による環境の変化	<p>事業実施箇所では、林分密度が適正に管理されており、下層植生が発達し、森林の持つ水源の涵養、山地災害の防止等の公益的機能が発揮され、良好な森林の形成が図られつつある。</p> <p>また、周囲の森林と調和した森林整備により、良好な景観も確保されている。</p>
⑤ 社会経済情勢の変化	<p>東京電力福島第一原子力発電所の事故により影響を受けた森林・林業・木材産業の生産基盤の早期復興を図るため、県、市町村が計画する「ふくしま森林再生事業」と連携した「国有林野事業における放射性物質対処型森林・林業復興対策実証事業」に取り組んでおり、放射性物質の影響を受けた森林環境の回復を推進するとともに地域の生活基盤の復興に寄与することとしている。</p> <p>また、これらの対策とあわせた適正な森林整備の推進に加え、国産材の安定供給体制の構築や、再生可能エネルギーとしての木質バイオマスの利活用等を通じた木材需要の創出を図ることで、国産材需要の高まりによる就労者人口の増加が期待される。</p> <p>なお、国有林から産出される素材についても、平成26年12月17日に福島県から発出された「福島県民有林の伐採木の搬出に関する指針」の内容に準拠した対応を取ることとする。</p>
⑥ 今後の課題等	<p>森林の有する公益的機能の維持増進を図るため、今後も適期に森林整備（更新及び保育）を実施するとともに、事業の実施に当たっては、作業効率の向上とコスト縮減の努力を続けることが必要である。</p> <p>森林資源は人工林を中心に本格的な利用が可能な段階に入りつつあり、地域の木材需要に応えるためにも、これまでの間伐を中心とした森林整備から、偏った齢級配置の平準化や森林の若返りのための主伐・再造林にも積極的に取り組む必要がある。</p> <p>また、「緑の雇用」事業などにより若齢層では改善の兆しがみられるものの、林産業就労者の確保は今後とも重要な課題であり、当該事業の実施等を通じて、林業事業体の育成や地域経済への貢献に資することが求められている。</p>
地元の意見:	<p>（<small>ふくしまけん</small>） （福島県）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施により、森林の有する公益的機能の維持増進が図られている。 <p>（<small>ふくしまし</small>） （福島市）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業コストを抑えた森林整備を実現するためにも国有林と民有林が一体となった森林整備が必要と考える。また、森林がもつ多面的機能が全体的に十分発

	<p>揮されるよう森林整備事業を継続していただき、森林整備のみでなく林業全体の活性化や雇用創出に繋げてほしい。</p> <p>(桑折町)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度より当町でも「ふくしま森林再生事業」における森林整備事業に本格的に取り組んでいくので、今後もより一層の情報の共有と連携を深めていきたい。 <p>(大玉村)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全林野に占める国有林区域の割合が高い本村内において、保育のための森林整備が実施されたことは十分に評価できるものである。 ・今後も同事業の継続と本村内の国有林の整備を要望する。
<p>森林管理局事業評価 技術検討会の意見</p>	<p>本事業の実施により水源涵養等の森林の持つ公益的機能の維持増進が図られ、事業の効果が発揮されていると認められる。</p> <p>今後も引き続き森林整備や路網の維持管理を適切に実施するとともに、事業を通して地域振興に貢献していくことが望まれる。</p>
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 本事業は、水源の涵養や国土の保全、保健文化及び地球温暖化等の公益的機能を発揮させるとともに、林産物の供給により地域振興に寄与することを目的とした事業であり、事業の必要性が認められた。 ・効率性： 事業の実施に当たっては、予算の範囲において、優先順位を付け、現地の状況に応じた事業内容及び作業仕様を採用し、コスト削減に努めており、費用対効果分析の結果からも効率性が認められる。 ・有効性： 福島市を中心とする県北地域の水源地に位置し、良質な水資源を供給するだけでなく、良好な生活環境の維持に資する森林を整備したことにより、水源の涵養や国土の保全等の公益的機能の維持増進が図られ、引き続きその効果が発現されると見込まれることから、事業の有効性が認められる。

森林環境保全整備事業 阿武隈川森林計画区(福島県・福島森林管理署管内) 事業概要図



阿武隈川森林計画図



俎板山外1国有林(福島市)



間伐実施後



間伐実施前

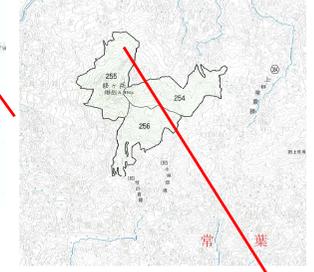


保育間伐



路網整備

桑柄木国有林(田村市)



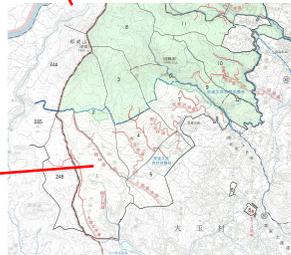
専用器具による植栽



南澤国有林(福島市)



下刈



前ヶ嶽外1国有林(安達郡大玉村)



コンテナ苗植付

完了後の評価個表

事業名	森林環境保全整備事業		事業実施期間	平成17年度～平成21年度												
事業実施地区名 (都道府県名)	あぶくまがわ 阿武隈川森林計画区 (福島県)		事業実施主体	関東森林管理局 福島森林管理署白河支署												
完了後経過年数	5年		管理主体	関東森林管理局 福島森林管理署白河支署												
事業の概要・目的	<p>当事業は、阿武隈川森林計画区に属する92千haの国有林野のうち、福島森林管理署白河支署が所管する34千haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区内の国有林野は、福島県の中央部の「中通り」に位置し、東は磐城森林計画区、西は会津森林計画区、南は奥久慈森林計画区に接しており、白河支署はその南部の国有林を所管している。</p> <p>当支署管内の国有林については、太平洋植生域から日本海植生域へ移行する地域まで広範な森林形態を有するものであり、阿武隈地域南部と奥羽山脈地域に大別される。気候、地況、土壌等の自然条件に恵まれた地域を中心に、スギ・アカマツを主とした人工林化が進んでおり、管内の人工林率は56%に達している。</p> <p>従来から、当計画区の森林は、水源の涵養、山地災害の防止、木材等の林産物の供給等の機能の発揮を通じて、地域住民の生活と深く結びついてきたところであるが、近年、これらに加えて、保健・文化・教育的な利用の場の提供、良好な生活環境の保全等の機能の発揮、地球温暖化の防止や生物多様性の保全等、森林の持つ多面的機能の発揮に対する期待が高まっている。</p> <p>具体的には、多面的機能を発揮するための基盤となる森林資源を整備するため、更新（地拵、植付）及び保育（下刈、つる切、除伐、保育間伐）等を実施するとともに、森林施業の効率的な実施に必要な路網整備（林道等の開設及び改良）を実施した。</p> <p>・主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>356ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>3,455ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>2.8km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>2.5km</td> </tr> </table> <p>・総事業費</p> <p>1,200,585千円</p>				森林整備	更新面積	356ha		保育面積	3,455ha	路網整備	開設延長	2.8km		改良延長	2.5km
森林整備	更新面積	356ha														
	保育面積	3,455ha														
路網整備	開設延長	2.8km														
	改良延長	2.5km														
① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成27年度時点における費用対効果分析は以下のとおりである。</p> <table border="0"> <tr> <td>総便益(B)</td> <td>9,616,376千円</td> <td>(事業採択時</td> <td>4,697,041千円)</td> </tr> <tr> <td>総費用(C)</td> <td>2,585,031千円</td> <td>(事業採択時</td> <td>2,227,073千円)</td> </tr> <tr> <td>分析結果(B/C)</td> <td colspan="3">3.72 (事業採択時 2.11)</td> </tr> </table>				総便益(B)	9,616,376千円	(事業採択時	4,697,041千円)	総費用(C)	2,585,031千円	(事業採択時	2,227,073千円)	分析結果(B/C)	3.72 (事業採択時 2.11)		
総便益(B)	9,616,376千円	(事業採択時	4,697,041千円)													
総費用(C)	2,585,031千円	(事業採択時	2,227,073千円)													
分析結果(B/C)	3.72 (事業採択時 2.11)															
② 事業効果の発現	阿武隈地域南部の古殿町横川・大原地区、白河市の表郷地区はスギを主体と															

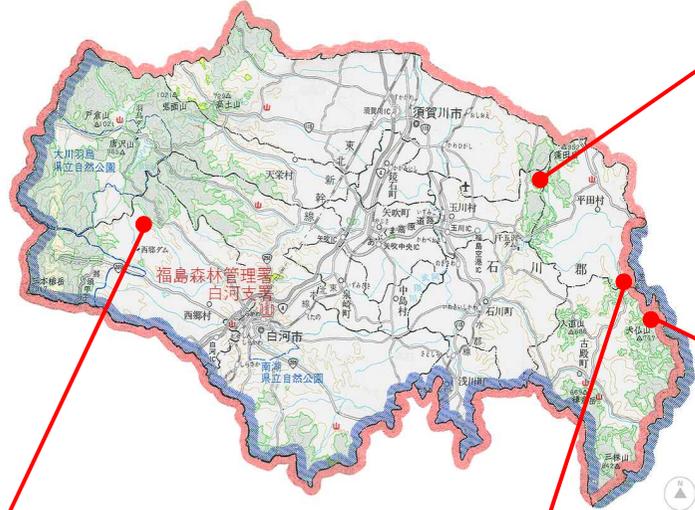
<p>状況</p>	<p>した人工林地帯で、保育等を実行した結果、森林資源の質向上と水土保全機能等の向上が図られた。また、利用期に達した林分の主伐実施箇所において、再造林を実施することで森林の若返りを行った。</p> <p>なお、主間伐等の森林施業により発生する材については、可能な限り搬出して原木の安定供給に努め、地域林業の振興に貢献している。</p>
<p>③ 事業により整備された施設の管理状況</p>	<p>林業専用道の開設及び改良により、森林整備が推進された。これらの基盤施設が適切に整備されたことで、高性能林業機械の導入が図られ、作業効率の向上、事業コストの縮減がもたらされるとともに、労働安全の確保にも貢献した。</p> <p>なお、整備された路網は、白河支署において良好に維持、管理されている。</p>
<p>④ 事業実施による環境の変化</p>	<p>森林整備の実施により、良好な森林が形成され、森林の持つ木材生産機能や水源の涵養、山地災害の防止、二酸化炭素吸収などの公益的機能が発揮されている。周囲の森林と調和した適切な森林施業は、自然公園等における良好な景観の形成に役立っており、自然探勝やレクリエーションの場の提供を通じ、地域における保健・文化機能の充実に貢献した。</p> <p>また、奥羽山脈地域に設定され支署管内の国有林の約半分の面積を占める「日光吾妻山地緑の回廊」においては、適切な森林管理により野生生物の移動経路の確保に努めており、森林生態系の保全にも貢献している。</p>
<p>⑤ 社会経済情勢の変化</p>	<p>平成23年3月に発生した東北地方太平洋沖地震と東京電力福島第一原子力発電所の事故は、未曾有の被害をもたらし、林業経済にも影響を与えた。</p> <p>森林・林業・木材産業の生産基盤の早期復興を図るため、県・市町村が計画する「ふくしま森林再生事業」とそれに連携した「国有林野事業における放射性物質対処型森林・林業復興対策実証事業」に取り組んでおり、放射性物質の影響を受けた森林環境の回復を推進するとともに地域の生活基盤の復興に寄与することとしている。</p> <p>また、これらの対策と合わせた適正な森林整備の推進に加え、国有林材の安定供給体制の構築や、再生可能エネルギーとしての木質バイオマスの利活用等を通じて木材需要の創出を図るとともに、木材の伐採・搬出にあたっては放射性物質が移行した表土流出防止の対策を講じるなどし、地域の生活基盤の復興に資するための最大限の配慮を行うこととする。</p> <p>なお、国有林から産出される素材についても、平成26年12月17日に福島県から発出された「福島県民有林の伐採木の搬出に関する指針」の内容に準拠した対応を取ることとする。</p>
<p>⑥ 今後の課題等</p> <p>地元の意見：</p>	<p>森林の有する公益的機能の維持増進を図るため、今後も適期に森林整備（更新及び保育）を実行するとともに、事業の実施にあたっては作業効率の向上とコスト縮減の努力を続けることが必要である。</p> <p>森林資源は人工林を中心に本格的な利用が可能な段階に入りつつあり、地域の木材需要に応えるためにも、これまでの間伐を中心とした森林整備から、齢級構成の平準化や森林の若返りのための主伐・再造林に積極的に取り組む必要がある。</p> <p>また、「緑の雇用」事業などにより若齢層では改善の兆しが見られるものの、林産業就労者の確保は今後とも重要な課題であり、当該事業の実行を通じて、林業事業者の育成や地域経済への貢献に資することが求められている。</p> <p>ふくしまけん (福島県)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施により、森林の有する公益的機能の維持増進が図られている。 <p>しらかわし (白河市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該事業の実施により森林の有する多面的機能の維持・促進が図られたもの

	<p>と評価する。</p> <p>また、本事業は、木材価格の低迷や後継者不足等の問題に対して効果が見込まれるため、今後も事業の推進を期待する。</p> <p>(須賀川市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林の有する公益的機能の増進を図るため、さらには、森林の健全性を確保するため有効な事業であったと評価する。 <p>今後も適切な造林、保育及び間伐等を推進していただきたい。</p> <p>(古殿町)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元林業事業体の育成並びに若い人材の確保を考慮した発注・事業実行に努めていただきたい。 <p>(天栄村)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該路網整備事業により羽鳥作業道が開設されたことは、作業効率の確保や事業コストの削減が図られ、一定の効果があつたものとする。森林整備においても、適正な維持管理等が促進されることを期待する。
<p>森林管理局事業評価 技術検討会の意見</p>	<p>本事業の実施により水源涵養等の森林の持つ公益的機能の維持増進が図られ、事業の効果が発揮されていると認められる。</p> <p>今後も引き続き森林整備や路網の維持管理を適切に実施するとともに、事業を通して地域振興に貢献していくことが望まれる。</p>
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 本事業は、水源の涵養や国土の保全、保健文化及び地球温暖化等の公益的機能を発揮させるとともに、林産物の供給により地域振興に寄与することを目的とした事業であり、事業の必要性が認められた。 ・効率性： 事業の実施に当たっては、現地の状況に応じた工種及び作業仕様を採用し、コスト削減に努めており、費用対効果分析の結果からも効率性が認められる。 ・有効性： 林業地域だけでなく森林生態系を重視するエリアも管理していることから、森林整備と路網整備をバランスよく実施したことにより、水源の涵養や国土の保全等の公益的機能の維持増進や林産物の安定供給が図られ、引き続きその効果が発現されると見込まれることから、事業の有効性が認められる。

森林環境保全整備事業 阿武隈川森林計画区(福島県・福島森林管理署白河支署管内)事業概要図



<福島森林管理署白河支署 管内図>



保育間伐
(石川郡石川町)



地拵、植付
(石川郡古殿町)



路網整備
(西白河郡西郷村)



高性能林業機械の導入による作業効率の向上
(石川郡平田村)

完了後の評価個表

事業名	森林環境保全整備事業		事業実施期間	平成17年度～平成21年度												
事業実施地区名 (都道府県名)	せいもう 西毛森林計画区 (群馬県)		事業実施主体	関東森林管理局 群馬森林管理署												
完了後経過年数	5年		管 理 主 体	関東森林管理局 群馬森林管理署												
事業の概要・目的	<p>当事業は、群馬県西南部に位置する西毛森林計画区29,072haの国有林野を対象としている。</p> <p>当地域は、北部、西部、南部にかけて山系が連なり、東部は関東平野の一角を占めている。多野山地等の急峻な山岳地等には天然林が多く、森林生態系の保全が求められている一方、都市近郊林の森林にあっては、憩いの場の提供や水土保持機能の維持・保全等が期待されている。特に、上流域の森林は、その地域のみならず首都圏の重要な水がめの役割を果たしており、生活用水や農業用水の供給源としても重視されている。</p> <p>人工林の生育状況は全般的に良好であるが、人工林のうちニホンジカやツキノワグマによる食害、剥皮被害が発生している地域も多く、良質な木材の生産が困難な箇所についても国土保全、水源涵養機能の維持・向上のため健全な森林状態に誘導することが求められている。</p> <p>本事業においては、これら地域の要請に応えるとともに、地球温暖化防止にも積極的に寄与するため、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を、森林の重視すべき機能の区分に応じて適切に実施した。</p> <p>・主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>162ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>2,691ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>6.4km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>2.1km</td> </tr> </table> <p>・総事業費</p> <p>1,382,242千円</p>				森林整備	更新面積	162ha		保育面積	2,691ha	路網整備	開設延長	6.4km		改良延長	2.1km
森林整備	更新面積	162ha														
	保育面積	2,691ha														
路網整備	開設延長	6.4km														
	改良延長	2.1km														
① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成27年度時点における費用対効果分析は以下のとおりである。</p> <table border="0"> <tr> <td>総便益(B)</td> <td>8,421,751千円</td> <td>(事業採択時</td> <td>4,839,052千円)</td> </tr> <tr> <td>総費用(C)</td> <td>2,822,873千円</td> <td>(事業採択時</td> <td>1,418,886千円)</td> </tr> <tr> <td>分析結果(B/C)</td> <td colspan="3">2.98 (事業採択時 3.41)</td> </tr> </table>				総便益(B)	8,421,751千円	(事業採択時	4,839,052千円)	総費用(C)	2,822,873千円	(事業採択時	1,418,886千円)	分析結果(B/C)	2.98 (事業採択時 3.41)		
総便益(B)	8,421,751千円	(事業採択時	4,839,052千円)													
総費用(C)	2,822,873千円	(事業採択時	1,418,886千円)													
分析結果(B/C)	2.98 (事業採択時 3.41)															
② 事業効果の発現状況	<p>林道の開設を実施したことにより、森林整備実施地区までの到達時間の短縮や作業コストの縮減が図られた。</p> <p>また、事業の実施により適正に整備された森林が形成されたことで、間伐実施後の林分では平成26年2月の大雪においても、被害は最小限度に抑えられ、多くの箇所では雪害は見受けられなかった。</p>															

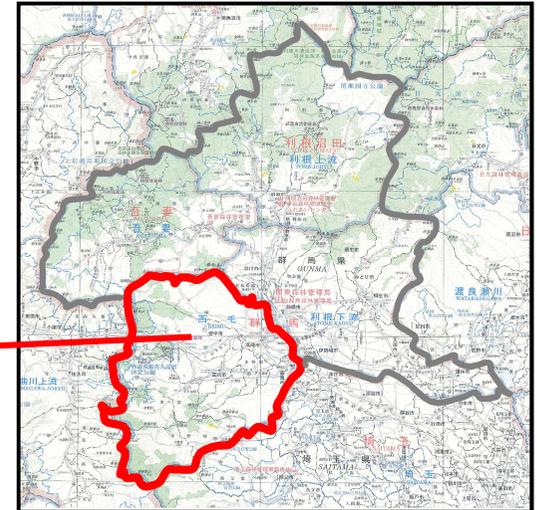
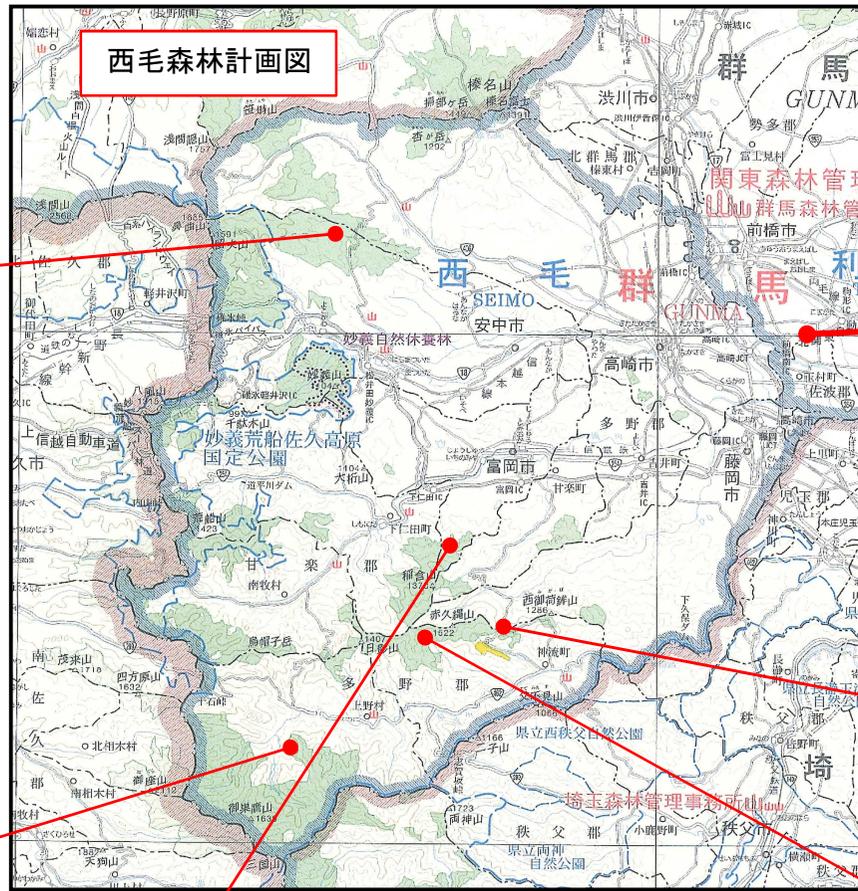
<p>③ 事業により整備された施設の管理状況</p>	<p>整備された路網は、群馬森林管理署において良好に維持、管理されている。</p>
<p>④ 事業実施による環境の変化</p>	<p>森林整備の実施により良好な森林が形成され、森林のもつ木材生産機能や、水源の涵養、山地災害の防止、二酸化炭素吸収などの公益的機能が発揮されている。また、良好な森林環境を育むことで野生動植物のすみかとして役立ち、生物多様性の保全にも貢献している。</p>
<p>⑤ 社会経済情勢の変化</p>	<p>平成に入ってから、ニホンジカによる獣害被害が目立ちはじめ、その後被害は拡大しており、近年では管内の人工林内に甚大な被害を与えている。</p> <p>森林・林業再生に向けた法整備が進む一方で、依然として木材価格の低迷、住宅着工戸数の減少がみられ林産業就労者人口は伸び悩んでいる状況にある。</p> <p>他方、群馬県でも平成26年度から「ぐんま緑の県民税」が導入され、森林の環境整備が進められ環境保全に対する県民の意識も醸成されつつある。森林整備へのボランティア参加者も増加傾向であり、地球温暖化防止対策として森林整備への期待は増している。</p>
<p>⑥ 今後の課題等</p> <p>地元の意見：</p>	<p>ニホンジカの生息密度が高くなる中で、森林整備と連動した被害対策の実施や効率的な捕獲手法の開発が急務である。</p> <p>林業労働者の増加が鈍い地域において、森林整備を担う事業体の確保や安定的かつ継続的な事業の確保が必要である。</p> <p>また、これまでの間伐中心とした森林整備から、偏った年齢配置の平準化や森林の若返りのための主伐・再造林が必要と考えるが、再造林にかかる獣害対策、苗木の需給状況等を把握しながら取り組むこととする。</p> <p>ぐんまけん (群馬県)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林が適正に整備されたことにより、森林が有する多様な公益的機能の維持増進が図られたと認識している。 ・今後も、適正な森林整備を行うとともに、資源の循環利用の計画的な推進を図っていただきたい。 <p>あんなかし (安中市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業施行地は市内の水源地の中でも主要な上流部である地域であり、間伐を主体とした森林整備を実施したことにより、森林の持つ多面的機能の保全と、良好な森林の形成がなされたと思う。今後も適切な森林整備の施行と、民有林事業者等の見本となるような管理をお願いしたい。 <p>うえのむら (上野村)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当村では木質バイオマス循環利用に取り組んでおり、その原料となる木材の安定的な確保ができるよう、引き続き事業の継続をお願いしたい。 <p>とみおかし (富岡市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画的な森林整備の実施により、水源涵養等の公益的機能の維持増進が図られ、事業の成果が認められることを期待する。 <p>なんもくむら (南牧村)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も森林整備を実施し、林業従事者の確保や益々増加する獣害の抑止等、良好な森林・林業の形成をお願いする。 <p>かんらまち (甘楽町)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化防止を目的とした森林整備等が適切に実施され、良好な環境が整備されたと評価できる。今後は、保健・文化・教育的な利用の場の提供を視野に入れ、森林空間を活かした総合的な整備を期待する。

<p>森林管理局事業評価 技術検討会の意見</p>	<p>本事業の実施により水源涵養等の森林の持つ公益的機能の維持増進が図られ、事業の効果が発揮されていると認められる。</p> <p>今後も引き続き森林整備や路網の維持管理を適切に実施するとともに、事業を通して地域振興に貢献していくことが望まれる。</p>
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 本事業は、水源の涵養や国土の保全、保健文化及び地球温暖化等の公益的機能を発揮させるとともに、林産物の供給により地域振興に寄与することを目的とした事業であり、事業の必要性が認められた。 ・ 効率性： 事業の実施に当たっては、現地の状況に応じた工種及び作業仕様を採用し、コスト削減に努めており、費用対効果分析の結果からも効率性が認められる。 ・ 有効性： 当計画区の人工林率は県平均を上回り、県内有数の林業地となっていることを踏まえ、林産物の安定供給に資する路網の開設・改良を実施したことにより、森林整備実施箇所へのアクセスの向上、コスト削減が図られるとともに、これらの路網を活用した森林整備の実施により水源の涵養や国土の保全等の公益的機能の維持増進が図られ、引き続きその効果が発現されると見込まれることから、事業の有効性が認められる。

森林環境保全整備事業 西毛森林計画区(群馬県) 事業概要図



間伐作業
(安中市)



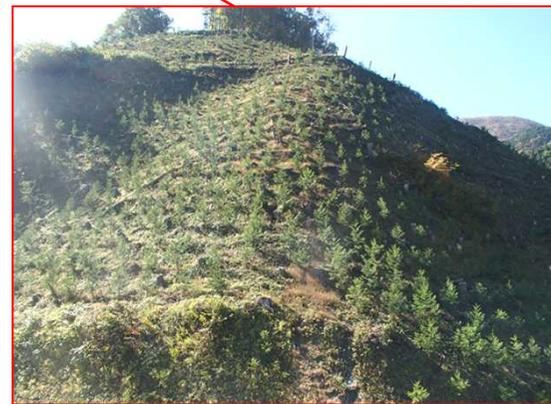
獣害防除
(多野郡上野村)



植付・獣害防除
(富岡市)



路網整備
(多野郡神流町)



下刈作業
(多野郡神流町)